

■特集 2011年度 鳳凰会総会を開催しました



新立会長



汐崎校長



服部副理事長

2011年9月23日、立命館宇治中学校・高等学校にて鳳凰会総会を開催しました。

3年ぶりとなる総会は、上治浩樹副会長の司会で始まりました。

まず最初に、新立敏美会長より挨拶とともに「2010年度活動報告および2011年度の活動方針」の説明があり、続いて、汐崎澄夫校長にご挨拶いただき、ご来賓の方々を紹介致しました。その後、来賓を代表して学校法人立命館副理事長 服部健二様よりご祝辞を頂戴し、出雲健彦副会長を議長に選出して議事に入りました。

次に、「2010年度決算」、「同監査報告」、「2011年度予算案」が提案され、全ての議案について全員の拍手で滞りなく承認されました。

引き続き、鳳凰会本部に届出のある2つのクラブ・サークルの活動報告がありました(3年8組FC、Rits-LABO OB会)。

最後に役員の改選に移り、現会長の新立敏美氏、監査2名およびその他の役員(副会長4名、庶務5名、会計2名)を選出し、総会を無事終了することができました。

新役員

会 長： 新立 敏美
副会長： 出雲 健彦
 上治 浩樹
 神野 一成
 矢野達比古
庶 務： 杉本 昇三
 田中いずみ
 高野 阿草
 元村 友哉
 林 龍徳
会 計： 谷口 博司
 北村 忠彦
監 査： 宮山 昭和
 久保 要介

Rits-LABO OB会報告





■ 2010年度決算について



収入

新会員会費、繰越金、利息その他で合計 8,583,831 円の収入となりました。

支出

以下、概略を報告します。

活動助成金… 129 万円の執行でした。卒業生にも活動助成金制度は浸透してきました。

クラブ・サークル補助金… 1 団体へ交付しました。

鳳凰賞……社会的に顕著な活躍をした同窓生を顕彰する制度ですが、2010 年度は「該当者なし」でした。在校生に贈る「激励賞」については、9 団体・個人に贈呈しました。

在校生支援… 高校 2 年生・3 年生を対象として「アカデミック・デイズ」にアドバイザーとして参加した卒業生への謝礼（図書カード）等の一部を補助しました。

会務経費……会報誌「鳳凰」の作成と郵送料等です。

2010 年度決算表

● 収入	会費収入 ……………6,015,000
	利息その他 ……………9,280
	繰越金 ……………2,559,551
	合計 ……………8,583,831
● 支出	事業経費 活動助成金 ……………1,290,000
	クラブ・サークル補助金 ……………10,000
	顕彰制度（鳳凰賞） ……………600,000
	在校生支援（アカデミック・デイズ） 126,480
	その他支援 ……………90,000
	大会経費 ボウリング大会 ……………21,953
	会務経費 印刷費 ……………1,023,250
	郵送費（委託費含む） ……1,926,669
	会議渉外費 ……………16,000
	交通費 ……………93,140
	消耗品費他 ……………14,679
	次年度繰越金 ……………2,871,660
	積立金 ……………500,000
	合計 ……………8,583,831

積立金（記念事業）・・・2010 年度で 850 万円となりました。

2011年度活動方針

1.基本方針について

- (1) 在校生や同窓生への支援を積極的に行なうとともに、鳳凰会の取り組みを知ってもらえるような機会をつくります。
- (2) 若手層にも積極的に関わってもらえるよう、本部役員会が中心となって体制を構築し、各種イベント等を実施します。

2.具体的な取り組みについて

- (1) ホームカミングデーを開催し、同窓生同士の交流を促進します。
- (2) 卒業生によるクラブ・サークルづくりを促進します。
また、各種大会（フットサル大会、テニス大会等）を開催します。
- (3) 会報誌にも掲載し、各種同窓会開催を奨励・支援します。
- (4) 各方面で活躍する同窓生を発掘できるようネットワークを構築します。
- (5) 在校生への支援を積極的にします。
- (6) 様々な年代が交流できる機会をつくります。

2011年度予算

● 収入	会費収入 ……………5,790,000
	利息その他 ……………4,000
	繰越金 ……………2,871,660
	合計 ……………8,665,660
● 支出	事業経費 活動助成金 ……………1,200,000
	クラブ・サークル補助金 ……………50,000
	顕彰制度（鳳凰賞） ……………650,000
	在校生支援（アカデミックデイズ） ……150,000
	その他支援 ……………100,000
	総会経費 ……………300,000
	会務経費 印刷費 ……………1,160,000
	郵送費（委託費含む） ……1,900,000
	会議渉外費 ……………50,000
	名簿整備費 ……………500,000
	交通費 ……………100,000
	消耗品費他 ……………60,000
	予備費 ……………50,000
	次年度繰越金 ……………2,395,660
	合計 ……………8,665,660

■ホームカミングデーを開催

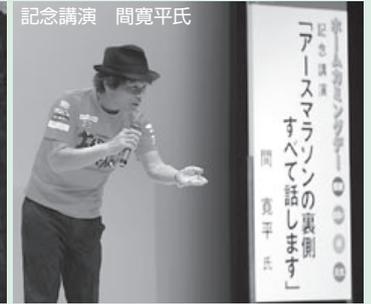
2011年9月23日、本校にてホームカミングデーを開催しました。当日は、天候に恵まれ、地域の方や卒業生・保護者等、約2,000名にお越しいただきました。記念講演として、間寛平氏に「アースマラソンの裏側すべて話します」と題して講演していただきました。講演は、軽妙でありながら広い視点をもって世界を見つめておられる間氏のお話にて、約900名の参加者は大笑いをしながらも、感動を得、有意義な時間を過ごしておられるようでした。その後、野外メインステージでは、書道部のパフォーマンスに続いて、卒業生の小崎まり氏・千葉真子氏による開会宣言があり、ホームカミングデーが始まりました。メインステージでは、生徒発表・保護者会コーラスなど、様々なジャンルのステージパフォーマンスが行われました。卒業生の小崎氏・千葉氏によるジョギング教室とアメリカンフットボール教室が、芝生第一グラウンドで行われました。お茶会・フラワーアレンジメント教室・展示企画など、移転10年目にあたり、感謝の気持ちを伝える企画も行われました。ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。また、ご協力いただいたすべての皆さまに感謝いたします。



メインステージ/チアリーダー部

開会宣言/小崎氏 千葉氏

記念講演 間寛平氏



メインステージ/書道パフォーマンス



書道パフォーマンス作品



stage



メインステージ/保護者コーラス部

Rits-LABO 活動/募金活動・グッズ販売



メインステージ/ GCP 報告



アメリカンフットボール教室

ground



ジョギング教室

■新幹事説明会を開催しました。

2012年2月28日、新立敏美会長より、新幹事（学年代表およびクラス代表）に、鳳凰会の概要や活動内容、幹事の役割などについて説明を行ないました。

鳳凰会新会員の皆さん、4月からの新生活に期待と希望で胸ふくらませておられることでしょう。幹事さんを中心に同窓会を開いて交流・親睦を深めてください。

鳳凰会は皆さんを全面的にバックアップします。



■2011年度 鳳凰賞 激励賞を贈りました。

鳳凰賞は「社会的に高く評価される顕著な実績を挙げた卒業生の顕彰」を目的に制定されました。第1号表彰は、2005年度に小崎まりさん（94年卒）へ贈りましたが、同賞には後輩（現役中・高生）にも「激励賞」を設けています。

2011年度は右記の皆さんへ贈りました。2012年2月28日に「授与式」を行い、正賞（賞状）および奨学金を贈呈しました。

- 磯邊ひな乃（中2）フィギュアスケート
 - ・トリグラフトロフィー 2011 ノービス女子 1位
 - ・アジアンフィギュアスケートトロフィー 2011 ジュニア女子 3位
- 金原里奈（中2）バレエ
 - ・ユースアメリカグランプリ 2012 日本予選 ジュニアクラシック部門 1位
 - ・モナコ立格レースバレエ学校 fullyear スカラシップ受賞
 - ・オーストラリアン・バレエ・スクール ITP スカラシップ受賞
- 嶋晴菜、古澤奈津実（中3）女子テニス
 - ・第38回全国中学生テニス選手権大会 個人ダブルス優勝
- 勝木亜向（高1）
 - ・2011.USオープンシンクロナイズドスイミング選手権チームジュニアの部 2位
- 北村桂香（高1）
 - ・第35回全国高等学校総合文化祭将棋部門・第47回全国高等学校将棋選手権大会 女子個人の部 優勝
 - ・第24回全国高等学校将棋竜王戦 決勝トーナメント進出
- 加藤未唯（高2）
 - ・Australia Open Junior Championship 女子ダブルス準優勝
- 青木奈波（高2）
 - ・皇后盃 第30回全国女子駅伝 優秀賞、第5区 区間賞

激励賞(高校)



激励賞(中学)



大学生 対象

恩師や社会人との **交流会** を開催！！

9月下旬頃に大学生を対象とした交流会の開催を予定しています。大学生同士の交流はもちろん、恩師や社会で活躍している先輩方との交流も予定しています。恩師への近況報告や、先輩へ就職や将来についての質問・疑問等、皆さまにとって実りある機会にしたいと思います。詳細は8月発行する会報誌にてお知らせしますので、ぜひご参加ください。

■退職の御挨拶

汐崎澄夫校長



「退職」という言葉の実感が持てないまま、この紙面に登場することになりました。皆さんが最もキラキラと輝く中高時代を共にすごせたことに感謝しています。在校生の皆さん、卒業生の皆さん。長い間お世話になり、本当にありがとうございました。

36年間、卒業生の皆さんの活躍が何よりの励みでした。“Alumni Magazine—卒業生からのメッセージ”を第3号までお届けしていますが、それぞれの分野で生き生きと頑張っている皆さんの姿に感動し、力を貰いま

した。陸上競技部の卒業生は、毎年1月、都道府県対抗駅伝大会で各地の代表として活躍してくれます。硬式野球部が選抜大会に出場した時は卒業生の大応援団で甲子園のアルプススタンドがエンジ色に染まりました。先日、サッカー部が全国選手権大会に出場すると、テレビ局にいる卒業生が「取材に行きたい」と声をかけてくれました。知事や市長に全国大会出場報告に行くときと庁舎で卒業生が迎えてくれます。地元企業の経営者や幹部から「卒業生です。」と挨拶を受けることも度々でした。そんな時ほど嬉しいことはありません。

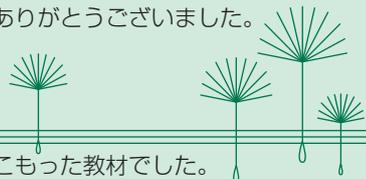
また、昨年、懐かしい三室戸校地から広野町に移転して10周年となったことを記念して「ホームカミングデー」を開催しましたが、2000人も卒業生・来場者を迎えて久しぶりの再会を果たし、地域の皆さんにも立命館宇治中学校・高等学校の発展と卒業生の皆さんの活躍を心から喜んでいただくことができました。

今、皆さんの母校は、中学校(生徒数540名)、高等学校(生徒数1110名)を擁し、国際バカロレアのディプロマ取得の課程を実施す

る関西唯一のIB World Schoolとして注目を集めています。今年その第1期生が卒業しますが、これからのグローバル社会で活躍する卒業生がどんどん育つ学校になっています。自然科学同好会のイガイ真珠の研究は「日本学生科学賞」入選一等を受賞しました。将棋の高校生日本一もいます。テニスでは中学生がダブルスで全国制覇を成し遂げました。バレーやフィギュアスケート、文化・芸術活動で頑張っている生徒もいます。東日本大震災復興支援のボランティア活動にも熱心に取り組んでいます。皆さんが築いてくれた伝統の上に、後輩たちが切磋琢磨し新しい歴史を刻みながら頑張っています。

10年後、20年後には、この「鳳凰会」の卒業生ネットワークが一層素晴らしい発展を遂げていると思います。それを楽しみに、私も「卒業生教員」として母校の発展を応援していきたいと思います。

長い間、お世話になりました。また、幸せな日々をありがとうございました。



谷口充子副校長



退職を前にして机やロッカーを整理していると、思い出がいっぱい出てきました。毎年写したクラス集合写真、担任クラスや授業のスナップ、修学旅行のお土産に男子生徒がくれた花瓶やメモクリップ、クラス替えのたびの寄せ書きや文集の中のたくさんたくさ

んの温かい言葉…。

1979年に宇治学園国語科教員として就職してから、32年。過ぎた時間の重さを改めて感じています。

理想ばかり大きくて本当はなんにもできなかったのに、一緒に喜んだり悲しんだりしてくれた初めての担任クラスの皆さん、元気ですか。毎日班ノートを交換しているいろんなことを話し合いました。私の宝物です。

18年間、担任としてたくさん生徒に会いました。共有した時間の濃密さや、かけがえない心地よさと緊張感を忘れません。文化祭や体育祭、球技大会、研修旅行、校外学習等では、涙を流したり喧嘩したり手を取り合ったりして、一緒に時間を過ごしました。

授業では「宿題の多い」先生と嫌がられたりもしました。沖縄戦や『ころ』や『羅生門』や『野麦峠』、覚えていますか。それぞれに私の

思いのこもった教材でした。阪神淡路大震災に関する取り組みをずっと続けてくれた皆さん、あなたたちの若くて真摯でまじめな姿は私にたくさんのことを教えてくれました。

時々ふいに訪ねてきては私を喜ばせてくれたり、手紙で近況を知らせてくれたり、お酒を飲んで大笑いしたりしみじみしたり、卒業して何年経っても、いつまでも懐かしそうに「先生」と呼んでくれる皆さん、ありがとう。

宇治学園から立命館宇治高等学校へと校名が変わり移転して校舎も新しくなりました。けれども、間違いなく、この時間の流れは卒業生一人ひとりの思いが積み上げられていったものだと思います。

いま、32年間の「ありがとう」を皆さんに伝えたいと思います。



私たちは活動助成金を活用して同窓会を開きました。

*以下は2011年7月31日以降開催分です。

■7月31日

毎年恒例の3年7組女子でBBQ in近江舞子。来年からみんな社会人になり、なかなか集まらないという寂しさも少しありましたが、こうして大勢で集まってわいわいと騒ぐ様子は何年経っても変わりません。ひとりひとりのキャラが濃く、まさに十人十色といった感じです。7組は最高に楽しいメンバーが集まったクラスで、みんながみんな仲良く本当に自慢のクラスです。いつまでもこうして集まって騒ぎたいです。思い出に残る楽しい1日になりました。



■8月5日

私たちは、後輩たちのコンクールの応援に行った後、集まりました。同輩32人中29人が参加という素晴らしい出席率でした！まだ大学生になってから4か月しか経ってないのに、みんなで集まってわいわいしていると部活時代を思い出して、すごく懐かしかったです。みんなの近況報告や、高校時代の部活の話などとても盛り上がりました！中でも一番盛り上がったのはやっぱり…「大学生になってから彼氏ができた人いる?！」っていう話題でした(笑) 応援団吹奏楽部に入っていて、コンクールの練習で来られなかった子に応援メールをみんなで一斉に送ったりもしました。大学生活もいけれど、やっぱり立宇治のみんなとわいわいするのは楽しいし落ち着きます！今後、定期的に同窓会をしてずっとこのメンバーと交流していきたいと思っています。その際はまた、鳳凰会の助成金を利用していただきたいと思います。ありがとうございます。



■8月11日

4月の入学式以来、約4か月ぶりに2010年度卒3年10組の同窓会を開きました。今回は8月18日より2年間留学にいく子がいたので、その送別会も兼ねて企画しました。3年10組の担任だった鈴木秀知先生も参加して下さり、それぞれの大学生生活の近況報告や高校の思い出話をして、とても楽しい時間を過ごすことができました。今回は、活動助成金によってこの会を応援して頂き、本当にありがとうございました。



■8月13日

今日は3年8組でご飯を食べました。おいしかったです。でも石神君が店員さんにお酒をこぼされてしまい大変かわいそうでしたが、非常に有意義な時間を送ることができました。途中、高校時代の担任の先生である大林先生が顔を出してくれました。高校を卒業し、5年以上経ちますが、このようにいつまでも私達とつながりを持ってくれる先生と出会えたことを幸せに感じています。その一方で先生自身も早く幸せになって欲しいと切に願っています。



■9月15日

2010年卒10組のクラス会を開きました。クラス規模で会うのは1年ぶりということもあって、各テーブルとも近況報告などをして盛り上がっているようでした。人数が多かったため、全員と話すことはできなかったのですが、楽しい会となりました。来年またこのような機会があれば、今回留学や合宿などで来ることができなかったメンバーも含めて集まれれば良いなと思います。



■9月18日

昨年の夏から約1年ぶりにまた同窓会を開催しました。留学をして帰ってきた人、これから留学へ行く人、アルバイトに打ち込んでいる人、部活を頑張っている人、サークル活動を頑張っている人など、それぞれの大学生活を振り返り、近況報告をしました。高校を卒業してから約3年…それぞれおもしろい大学生活をenjoyしてきました。残り少ない大学生活ですが、

SEL卒業生らしく、自分らしさを大事にしつつ、お互い有意義な日々を送っていきたくと思います。Keep in Touch!



■11月27日

今回、2010年度、2011年度卒のサッカー一部でOB会を行いました。参加者32名と大勢集まり、監督はじめ先生やコーチの方々も参加してくれました。年代や監督、コーチの間には隔たりがなく、とてもいい雰囲気で行うことができました。会場は、現在のサッカー部の話から始まり、今年の選手権出場を喜びました。その後、2年前のサッカー部の話で盛り上がり、当時は振り返りながら楽しい時間を過ごしました。当時思っていたことを監督と選手の間で話している姿はOB会のあり方を表しているようでした。最後に監督がお話して下さり、とても充実したOB会になりました。サッカー部というつながりを通じて、今回のように集まれる機会に参加者全員喜びを感じていました。



■12月9日

久しぶりに高校時代の仲間と飲み明かしました。みんな高校の頃と全く変わってはいなくガキばかりで、あの頃の高校生だった時のように騒ぎまくっていました。しかし、僕たちももう22歳。来年からは、みんなそれぞれの道を歩んでいきます。みんな自分が進むべき道へ舵を取ろうとしています。僕は自分が進むべき道へ自信を持って行ってほしいと思います。他人にとやかく言われても自分の人生！！当たって砕けろ！！傾くなら傾き通せ！！そして、みんなそれぞれ武勇伝を語れるくらいになったらもう一回ここに集まりましょう。そして、今日のように騒ぎまくりましょう。それぞれの人生の門出に乾杯！！



■12月16日

サッカー部の2007年度卒業生を中心としたOB会を京都・四条河原町で行いました。私たちは卒業から4年経ち今年の夏まで就職活動に取り組んでいたため、同学年や後輩達と一堂に介するのは約1年ぶりでした。懐かしい面々が揃ったことで、いつも以上に思い出話に花が咲きました。やはり思い出させるのは高校時代の部活生活での様々な失敗話です。部活動ではプレー技術の向上だけでなく、大人になるために必要な礼儀作法や社会のルールを教わりました。当時は怒られてばかりでしたが、この時教わったことや部活動で培った精神力が大学生活でも就職活動でも役立つと感じています。本年度は、後輩たちが全国高校サッカー選手権への出場を決めその話題でも大変盛り上がりました。後輩たちには私達の分まで頑張ってもらいたいですし、自分達も彼らに負けないようそれぞれのフィールドで頑張っていこうと話した、有意義な1日でした。



■12月28日

2008年度卒のラクロス部が集まり、忘年会を開きました。ラクロス部は本当に仲が良い！ということで、17人集まるという異例の参加率の高さ。そしてイタリアンのお店を貸し切りにし、いつも通りうるさく（笑）ワイワイと、今年1年の嫌な事を全て忘れて、楽しみました。来年は卒業して社会人になる人たちが多く、「これが卒業前最後の同窓会かな」なんて話ながら、高校時代の話を華を咲かせ、とても有意義な時間になりました。また、鳳凰会の助成金のおかげで、お値段も安く、二倍・三倍に楽しめました。2012年は、7年間慣れ親しんだ立命館を離れてバラバラになるけれど、鳳凰会の助成金もあるということで、来年も同窓会を開いて近況を報告したいと思います。



■1月3日

2007年度卒業生である3年7組のクラスメイト達と、同窓会をとり行いました。こうして一同に介するのは、久々のことで、高校時代の思い出話に花が咲きました。また、多くのクラスメイト達が就職活動などを終え、社会人や、または大学院への進学など、春からの新生活に向けての抱負や目標に関しても語り合

ました。環境が変わることに対しての不安は大きいですが、こうして高校、大学時代と共に切磋琢磨し合った仲間達と時間を共有することで、自分も頑張らなくてはと新しいことができた貴重な日となったと思います。高校時代の学校行事などをはじめとする楽しかった記憶や、部活動、勉強に勤しんだ毎日の思い出、全てを今後の人生の糧とし、それぞれのフィールドで頑張っていくことが出来ればと思います。また、大学を卒業しても諸先輩方のようにこのような機会を設けていければと思います。



■1月9日

立命館宇治中学校2期生の私達も今年度、成人式を迎えることになりました。そこで、卒業以来、初めて立命館宇治中学2期生で集まりました！総勢90名！今回は高校3年時、内部の担任の先生お二人が来てくださいました！12歳で出会った私たちも、もう20歳になりました。8年目のお付き合いです。中には久しぶりの顔もいて、大変盛り上がりました！もともと2期生は自己推薦で入学している人も多く、昔から何かしらの分野で頑張っている人たちでしたが、相変わらずみんなアクティブで、部活動がんばっている人、ボランティアなど学生団体で頑張っている人、大学で実験を頑張っている人などいろんな人がいました。参加できなかった人でも海外で頑張っている人も何人もいます。また次に集まる時が楽しみになりました♪最後になりましたが、...幹事をしてくれた人ありがとうございます！



■2月11日

京都にて2009年卒SELのメンバーで集まりました。3回生の2月とあって就職活動が本格的にはじまり、忙しい中でしたが、約半数の15名が集まることができました。3年ぶりに会うメンバーもいましたが、みんな全く変わらず、お互いの就活状況や懐かしい思い出話まで時間を忘れるぐらい話し、楽しい時間を過ごすことができました。次は夏頃に良い報告ができる会を開けたらいいなと思います。



■3月2日

大学生生活の最後にと、高校のクラス同窓会を開催しました。友達の中には「まだ来年も学生」という人がいたのだけれど、とにかく旧友水入らずで酒を飲むことができました。

今回、同窓会の為だけに東京から足を運んでくれた友人がいました。彼女は事情により既に働いていて、控えめに見ても未だ学生の僕らよりずっとタフに暮らしていると思います。でもだからこそ学生時代の仲間と手放して酒を飲めることの幸せを、彼女は他の人以上に強く実感できるのだと僕は思います。

僕らもこれから皆別々の道で、多かれ少なかれタフな現実と向き合って生きていくことになるはずですが、でも僕らは、たとえ厳しい環境にあっても、一度は同じ窓から外の世界を眺めたもの同士互いに心を温め合うことができるのだということを忘れてないでたいです。



■3月10日

今回は2007年度卒業生の11期生が幹事をしました。1期生から、現役で活躍している高校生までの約60人が集まり、雑談を混じえつつ昼食をとったり、ゲームをしたりと世代を超えて楽しい時を過ごしました。毎年恒例となっているOG会ですが、改めて立命館宇治高校生であったこと、そしてレイチャーズのメンバーであることに誇りを持ち、絆を感じることでできた一日となりました。



INFORMATION

同窓生のみなさんへ

皆さまからの
投稿を
お待ちしております
います

近況報告、同窓会の開催案内等、お知らせください。
ただし、下記注意事項および投稿要領をご参照ください。
現在、会報紙「鳳凰」の定期号は年2回発行しています。
投稿される場合は1月および6月の各末日までにお送りください。

- ◆600字以内、写真がある場合は2枚以内でお願いします。
- ◆いただいた原稿そのままを掲載します。誤字・脱字にご注意ください。
- ◆卒業生本人が作成した記名記事とします。匿名、偽名、ペンネームはお断りします。
- ◆営利目的、特定の個人・団体等に対する誹謗・中傷、人権侵害、セクシュアルハラスメントなどに繋がると思われる不適切な表現がある場合は掲載しません。また、「鳳凰会」の不利益となると判断される場合も掲載しません。



活動助成金のお知らせ

“同窓会”開催に「祝い金」をお贈りします。クラブ、クラス、学年などで同窓会を大いに開き、親睦と交流を深めましょう!!

鳳凰会（同窓会）では、各種同窓会の開催を奨励するため、卒業生10人以上で同窓会を開いた場合、人数に応じて「活動助成金」として祝い金をお贈りしています。

【申請方法】

同窓会開催の前に(2週間前までに)、所定の申請書を事務局に提出してください。

申請書は、立命館宇治中高ホームページの「卒業生」コーナーにアクセスしてダウンロードしてください。

必要事項を記入したら、メールまたは郵送し、事務局からの連絡を待ってください。

「卒業生」コーナーのアドレス

<http://www.ujc.ritsumeai.ac.jp/ujc/graduate.php>

なお、事務局あてに「申請書」を添付してメールで送りたい場合、その方法については上記同窓会コーナーの一番最後にある「メールによるご連絡はこちらへ」をクリックしてお問い合わせください。

申請要項

1. 同窓生10名以上の出席者があり、出席人数によって以下の金額を支払います。
 - ・10名～15名=1万円
 - ・16名～25名=2万円
 - ・26名～50名=3万円
 - ・51名以上=本部役員会で決定します。なお、同一の学年、クラブ、クラス、団体の同窓会への支給は年2回までとします。ただし、出席者の4分の3以上が同じ場合は同一の申請とみなします。
2. 同窓会開催2週間前までに、所定の申請用紙に必要事項を記入の上、開催要項(日時・場所・内容・代表者は必ず2名記入)を添えて事務局へ申請し、会長が決済します。決済後、事務局から連絡しますので、祝金を事務室まで取りにきてください。
3. 同窓会終了後、1週間以内に会報紙「鳳凰」へ掲載する写真一葉以上と記事原稿(400字以内)および出席者名簿(別紙の所定用紙)、領収書を必ず提出してください。

クラブ・サークル補助金制度について

- クラブ・サークルを3名以上の鳳凰会会員で設立したら、クラブ・サークルを届け出てください。「申請書」はホームページからダウンロードできます。

- クラブ・サークルに対して、「一人当たり年間6千円分」または「クラブ・サークルの年間経費の10%」のいずれか金額の低い方を上限として補助します。ただし、この補助金を受けたクラブ・サークルは年1回「決算報告」「構成員名簿」「鳳凰」掲載記事を提出し、総会またはそれに代わる幹事会に出席して活動報告をしてください。



- ◆住所・氏名の変更、幹事(クラス代表)交代の場合は、必ず事務局までご連絡ください。
- ◆学校のHP上に「卒業生」コーナーがあります。ここから事務局へメールが送れます。

<http://www.ujc.ritsumeai.ac.jp/ujc/graduate.php>

学校の様子、後輩(生徒)達の活躍がりは、
こちらのアドレスへアクセス!!

<http://www.ritsumeai.ac.jp/ujc/>

〒611-0031 宇治市広野町八軒屋谷33-1 立命館宇治中学校・高等学校事務室内 鳳凰会事務局

Tel: 0774-41-3000 Fax: 0774-41-3555